

講義名	情報社会論			授業形態	
担当教員	小谷 七生	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 5 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生
				ナンバリング・コード	SOC262

主題と概要
私たちはいま、情報化社会に生きている。インターネットやSNSなどの新しい情報技術（デジタルメディア）は、どのような生成過程をへて、また、私たちはそれらからいかなる影響を受けてきたのか。本講義では、多様な資料を参考にしながら、現代社会と情報技術（デジタルメディア）の関係を考察する。

到達目標
・近現代社会における情報技術（デジタルメディア）の特性を論じることができる。 ・情報技術について、人ひととの相互関係をもとに説明することができる。 ・情報社会に流されるのではなく、その社会を主体性を持って分析することができる。

提出課題
平常点課題については、毎回の授業内で簡単な質問をするので、Campus-Xsでの提出をもって出席とする。授業日数の3分の1を超えて欠席した場合は、成績対象外とする。いずれの課題においても、剽窃（出典を表記しないネット生地の書き写し・コピーペースト）は不正行為とみなす。他人の課題を写したり、反対に自分の課題を他人に写させる行為も同様に不正行為とみなす。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
平常点課題として寄せられたコメントのいくつかなどを、次回以降の授業内で適宜紹介し、応答する。

評価の基準
成績評価は、平常点課題（30％） 期末レポート（70％）によって行う。 これらにおいては、（1）授業理解度（授業で扱った内容について理解できているか）、（2）分析・考察（授業で学んだ知識を用いて、自分自身の関心に沿ったコメントや分析ができているか）を問う。

履修にあたっての注意・助言他
日常生活を送るうえで、情報技術そのものや、自分自身を含む人びととの関係性についての情報を積極的に集めておいてほしい。授業内容の理解がより深まると考えられる。

教科書				
参考図書				
.デジタルメディアの社会学.	土橋臣吾ほか	北樹出版	2100	9784779303661
.メディア社会論.	辻泉ほか	有斐閣	1800	9784641150553

その他

第1回 インTRODakション:「情報社会」「デジタルメディア」とは何か / 授業の進め方について 予習内容: シラバス並びにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認する。初めての講義の前なので分からない部分も多いと考えるが、そのなかから自分が関心を抱いたものについて調べたり、報道を確認したりする。それらを簡単にまとめ、自分なりのコメントを考えたのち、講義に出席すること（120分） 復習内容: 講義で学んだ内容を振り返り、気になる点はさらに自分で調べて授業内容の理解を深めること（120分）	
第2回 デジッJyメディアとブルメディア 予習内容: シラバス並びにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認する。そのなかから、自分が関心を抱いたものについて調べたり、報道を確認したりする。それらを簡単にまとめ、自分なりのコメントを考えたのち、講義に出席すること（120分） 復習内容: 講義で学んだ内容を振り返り、気になる点はさらに自分で調べて授業内容の理解を深めること（120分）	
第3回 ネット空間の自由と管理 予習内容: シラバス並びにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認する。そのなかから、自分が関心を抱いたものについて調べたり、報道を確認したりする。それらを簡単にまとめ、自分なりのコメントを考えたのち、講義に出席すること（120分） 復習内容: 講義で学んだ内容を振り返り、気になる点はさらに自分で調べて授業内容の理解を深めること（120分）	
第4回 スマートフォンと友人関係 予習内容: シラバス並びにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認する。そのなかから、自分が関心を抱いたものについて調べたり、報道を確認したりする。それらを簡単にまとめ、自分なりのコメントを考えたのち、講義に出席すること（120分） 復習内容: 講義で学んだ内容を振り返り、気になる点はさらに自分で調べて授業内容の理解を深めること（120分）	
第5回 テレビから動画サイトへ 予習内容: シラバス並びにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認する。そのなかから、自分が関心を抱いたものについて調べたり、報道を確認したりする。それらを簡単にまとめ、自分なりのコメントを考えたのち、講義に出席すること（120分） 復習内容: 講義で学んだ内容を振り返り、気になる点はさらに自分で調べて授業内容の理解を深めること（120分）	
第6回 デジタル・コンテンツの価値と消費 予習内容: シラバス並びにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認する。そのなかから、自分が関心を抱いたものについて調べたり、報道を確認したりする。それらを簡単にまとめ、自分なりのコメントを考えたのち、講義に出席すること（120分） 復習内容: 講義で学んだ内容を振り返り、気になる点はさらに自分で調べて授業内容の理解を深めること（120分）	
第7回 クラウドファンディング等にもみられるオンライン選挙 予習内容: シラバス並びにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認する。そのなかから、自分が関心を抱いたものについて調べたり、報道を確認したりする。それらを簡単にまとめ、自分なりのコメントを考えたのち、講義に出席すること（120分） 復習内容: 講義で学んだ内容を振り返り、気になる点はさらに自分で調べて授業内容の理解を深めること（120分）	
第8回 ウィキペディアと「つながり」 予習内容: シラバス並びにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認する。そのなかから、自分が関心を抱いたものについて調べたり、報道を確認したりする。それらを簡単にまとめ、自分なりのコメントを考えたのち、講義に出席すること（120分） 復習内容: 講義で学んだ内容を振り返り、気になる点はさらに自分で調べて授業内容の理解を深めること（120分）	
第9回 ケータイ / スマートフォンと都市 予習内容: シラバス並びにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認する。そのなかから、自分が関心を抱いたものについて調べたり、報道を確認したりする。それらを簡単にまとめ、自分なりのコメントを考えたのち、講義に出席すること（120分） 復習内容: 講義で学んだ内容を振り返り、気になる点はさらに自分で調べて授業内容の理解を深めること（120分）	
第10回 時間の同期とWeb 予習内容: シラバス並びにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認する。そのなかから、自分が関心を抱いたものについて調べたり、報道を確認したりする。それらを簡単にまとめ、自分なりのコメントを考えたのち、講義に出席すること（120分） 復習内容: 講義で学んだ内容を振り返り、気になる点はさらに自分で調べて授業内容の理解を深めること（120分）	
第11回 デジタル・コンテンツと経済 予習内容: シラバス並びにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認する。そのなかから、自分が関心を抱いたものについて調べたり、報道を確認したりする。それらを簡単にまとめ、自分なりのコメントを考えたのち、講義に出席すること（120分） 復習内容: 講義で学んだ内容を振り返り、気になる点はさらに自分で調べて授業内容の理解を深めること（120分）	
第12回 メディア・リテラシーとSNS規制 予習内容: シラバス並びにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認する。そのなかから、自分が関心を抱いたものについて調べたり、報道を確認したりする。それらを簡単にまとめ、自分なりのコメント	
授業形態（アクティブ・ラーニング）	
○ ア: PBL（課題解決型学習）	イ: 反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ: ディスカッション、ディベート	エ: グループワーク
オ: プレゼンテーション	カ: 実習、フィールドワーク
キ: その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
情報社会に関する知識を身につけるためには、レジュメや参考書に目を通したり、情報社会にまつわるさまざまなキーワードをもとに日々、報道などに触れたりすること（週に4時間以上）。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
レポート課題の提出などは、ポータルサイト「Ryuka Portal」を通して行う。そして、授業内においては、内容をより分かりやすくイメージし、また興味を持って取り組めるように、レジュメだけでなく、新聞記事や映像資料なども積極的に使用する。映像作品なども視聴することで、講義内容への理解がより深まることが期待される。

実務経験の有無及び活用

備考